

七尾みなとRCに支援物資

瀬戸北RC

ロータリークラブライオンズクラブ 青年会議所

生活必需品など搬送

地元企業らが調達に協力

瀬戸北ロータリークラブ(RC)伊藤京子会長は15日、瀬戸市本郷町のホムプラザナフコ瀬戸みずの店舗駐車場で、能登半島地震で被害を受けた石川県七尾市へ緊急支援物資搬送の出発式を開いた。

同RCは10年ほど前から七尾みなとRCの会員と連絡が付き、被害状況や必要としている物資の確認ができたことから、7日に緊急理事会を開き、支援物資の搬送を決めた。

被災から2日後の3日、七尾みなとRCの会員と連絡が付き、被害状況や必要としている物資の確認ができたことから、7日に緊急理事会を開き、支援物資の搬送を決めた。

給水用のポリタンクや防寒・衣料品、紙皿などの食器類、タオルや簡易トイレ、おむつなどの衛生用品、寝具など35種類ほどを、丸五運送の15トトラックに満載し搬送した。物資の調達には、ホームプラザナフコ瀬戸みずの店、スギ薬局水野店が協力した。

出発にあたり、伊藤会長は「七尾みなとRCのメンバーの皆さんは、自分たちも大変な状況にもかかわらず、市民のために頑張っていて、少しだけでもお役に立てればと話していた。

物資は、七尾市内のJAバンク能登わかば農業協同組合徳田支店に到着し、七尾市内外の避難所に配布されるという。(尾東)

大垣青年会議所(JC)は、大垣市の大垣フォーラムホテルで「新年互礼「不撓不折」を開催した。会員や来

「JCのあらゆる機会を成長の場にしていこう」と呼び掛ける伊藤理事長



出発するトラック



支援物資を梱包(こんほう)するメンバー